2016年3月期第2四半期
決算説明会

2015/11/26

日本ライフライン株式会社

- 第2四半期決算報告
- 通期業績見通し

取締役管理本部長
山田 健二

2016年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

1. 新商品導入によるリズムディバイスの売上高の増加

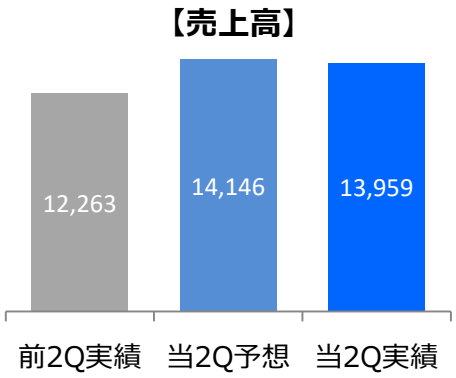
2. 自社グループ製品の伸長による売上総利益率の改善

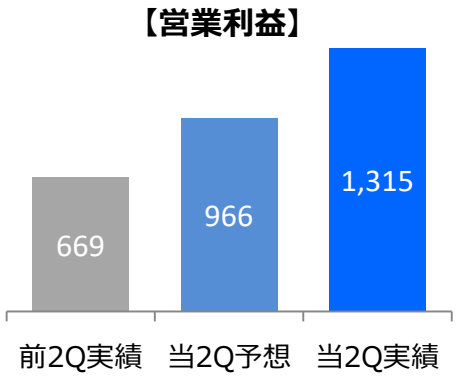
3. 薬事関連費用の遅れ等により営業利益は計画を上回る

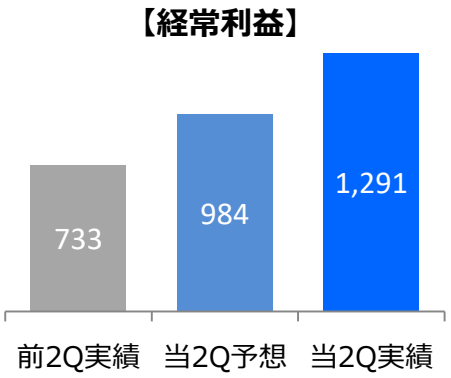
4. 投資有価証券売却益等の特別利益を計上

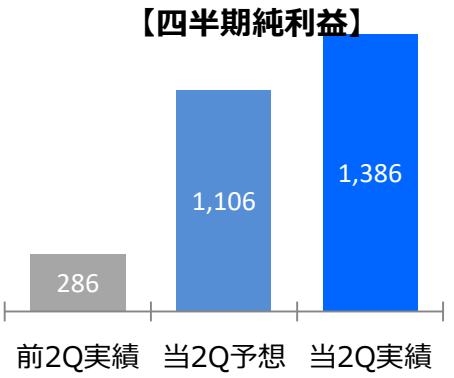
2016年3月期 第2四半期 連結業績

（百万円）	前期２Ｑ累計	当期２Ｑ累計			
	実績	当初予想（4/30発表）	実績	前年同期比	予想比
売　上　高	12,263	14,146	13,959	13.8%	△1.3%
営　業　利　益	669	966	1,315	96.4%	36.1%
経　常　利　益	733	984	1,291	76.0%	31.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	1,106	1,386	384.7%	25.3%





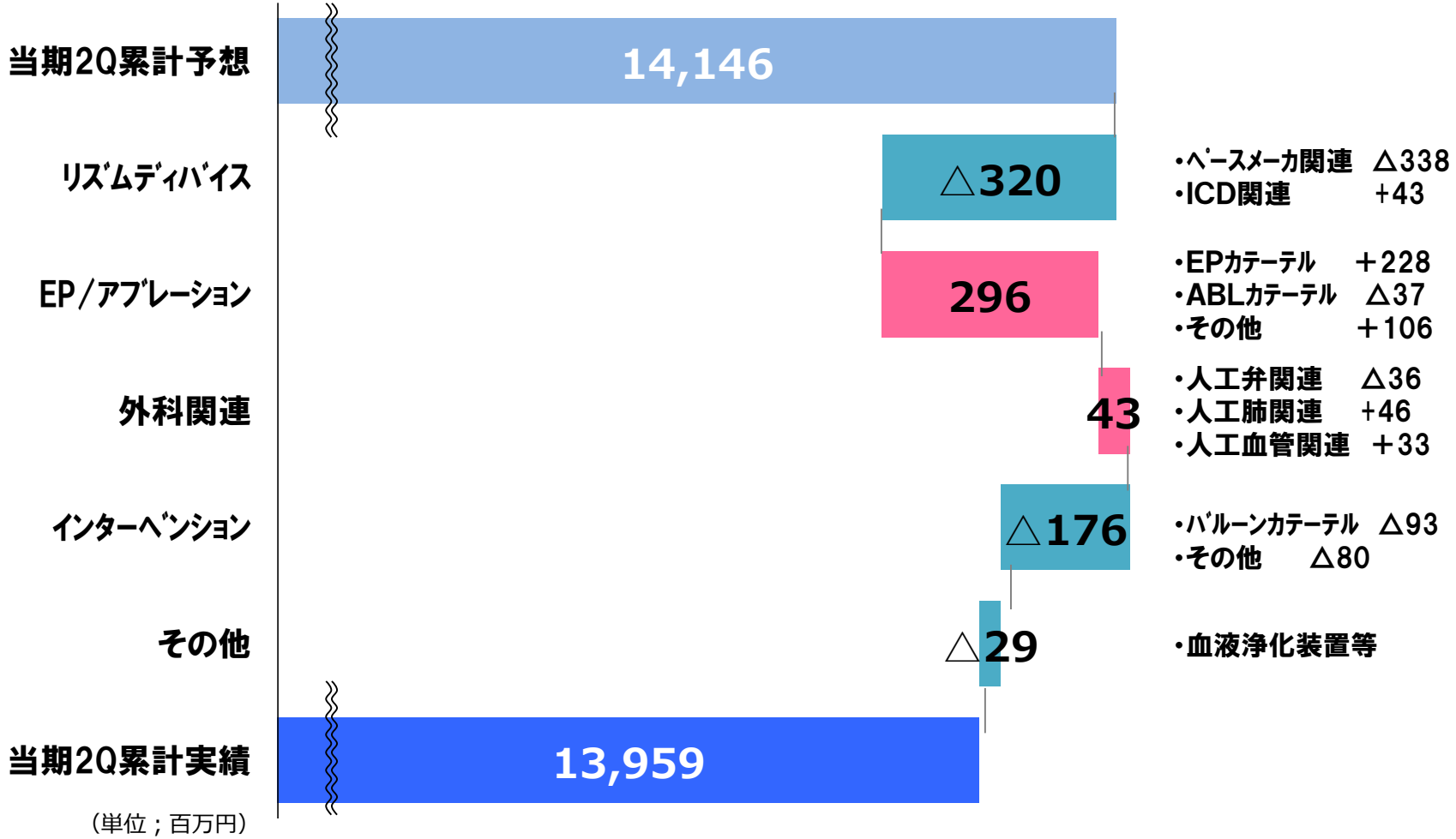




Japan Lifeline

第2四半期累計 連結売上高

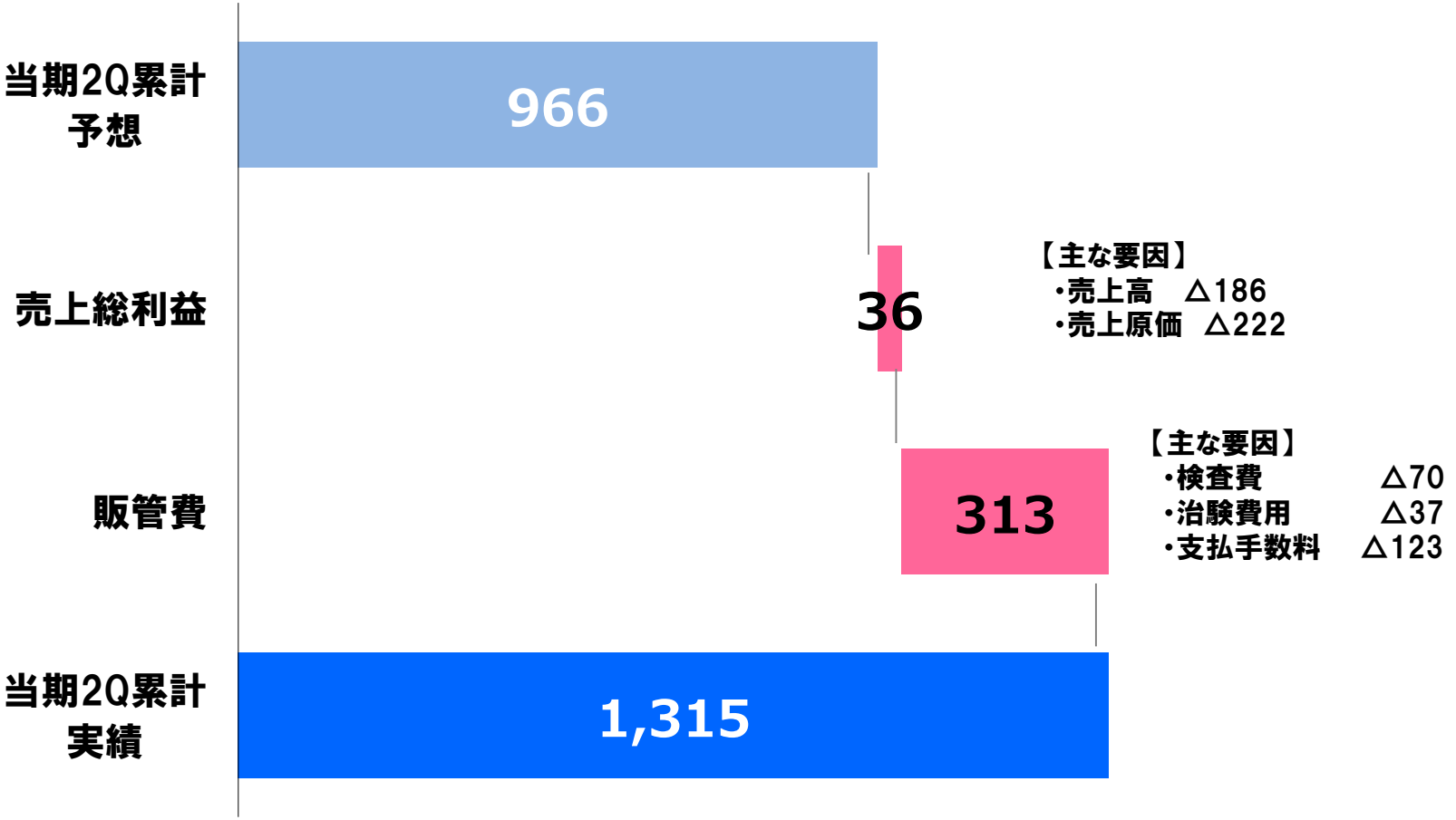
対予想　△186百万円(1.3%減)



Japan Lifeline

第2四半期累計 連結営業利益

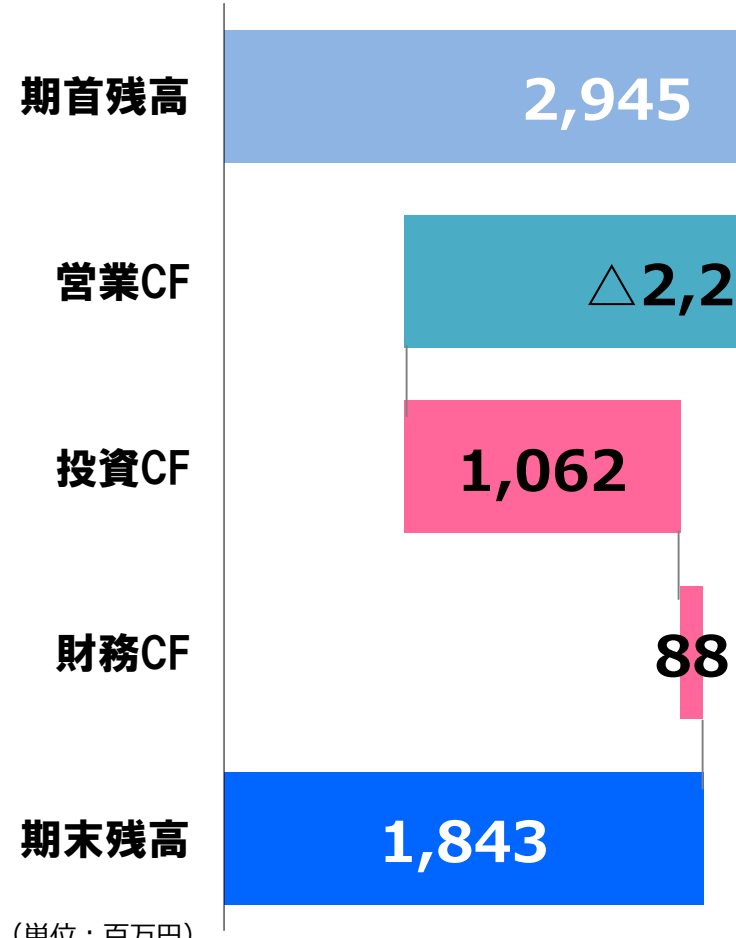
対予想　＋349百万円(36.1%増)



（単位；百万円）

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物　△1,101百万円



【増加】・税金等調整前四半期純利益　＋2,325
・その他（未収入金の減少等）　＋1,871
【減少】・投資有価証券売却益　△1,028
・棚卸資産の増加　△1,916
・仕入債務の減少　△2,994

【増加】・投資有価証券売却による収入　＋1,345
【減少】・有形固定資産取得による支出　△262

【増加】・短期借入金の増加額　＋1,000
・長期借入れによる収入　＋2,450
【減少】・長期借入金の返済　△1,025
・自己株式の取得　△1,950

Japan Lifeline

2016年3月期 通期 連結業績予想ハイライト

1. 売上高は当初計画水準を見込む

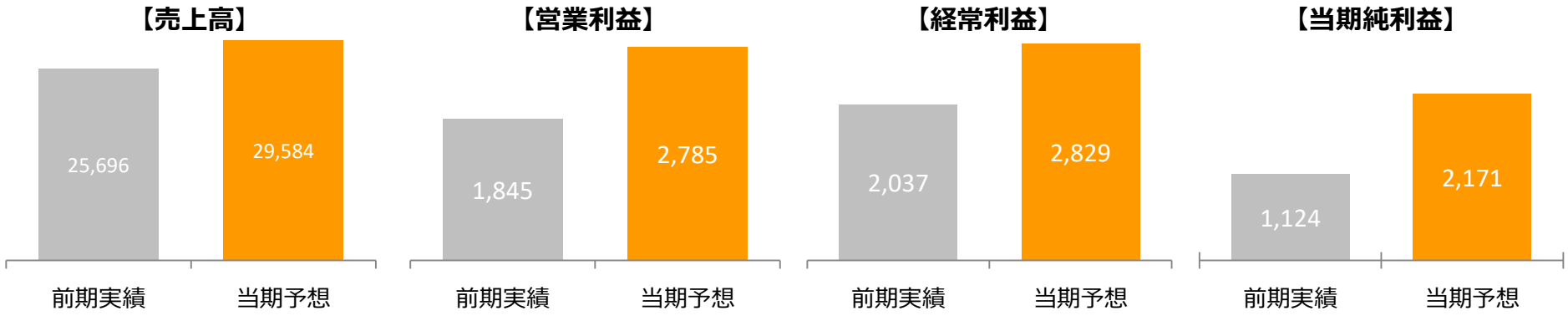
- 自社グループ製品のさらなる成長
- リズムディバイスや外科関連における新商品の導入

2. 営業利益以降も当初計画を据え置く

- 上期未執行の薬事関連費用の支出
- 自社製品の拡充に伴い新たに開発費用の増加を見込む

2016年3月期 通期 連結業績予想

（百万円）	前期 2015/3期	当期 2016/3期	
	実績	予想 4/30付	前期比
売上高	25,696	29,584	15.1%
営業利益	1,845	2,785	51.0%
経常利益	2,037	2,829	38.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	2,171	93.1%



Japan Lifeline

（資料）連結売上高　品目別

（百万円）	2015/3期		2016/3期				備考
	2Q累計（実績）	通期（実績）	2Q累計（実績）	対前年同期	通期（予想）	対前期	
ペースメーカ関連	1,792	3,503	2,409	34.4%	5,704	62.8%	
ＩＣＤ関連	325	593	277	△14.7%	523	△11.8%	
その他	38	76	59	53.6%	197	158.1%	
リズムディバイス計	2,156	4,173	2,746	27.4%	6,425	54.0%	
ＥＰカテーテル※	3,818	7,987	4,644	21.6%	8,909	11.5%	心腔内除細動ｶﾃｰﾃﾙ含む
ＡＢＬカテーテル※	736	1,440	663	△9.8%	1,563	8.5%	
その他※	943	2,020	1,210	28.4%	2,292	13.4%	高周波心房中隔穿刺針含む
ＥＰ／ＡＢＬ計	5,497	11,448	6,519	18.6%	12,765	11.5%	
人工弁関連	808	1,503	594	△26.4%	1,371	△8.7%	
人工肺関連※	163	317	81	△50.0%	72	△77.2%	
人工血管関連※	1,818	4,411	2,436	33.9%	5,096	15.5%	ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ、ｵｰﾌﾟﾝｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ含む
外科関連計	2,790	6,232	3,112	11.5%	6,540	4.9%	
バルーン※	463	975	442	△4.6%	1,057	8.4%	
ガイドワイヤー※	221	437	218	△1.0%	448	2.4%	
その他	590	1,203	374	△36.6%	981	△18.5%	‘15/3はフィルトラップ含む
インターベンション計	1,274	2,617	1,035	△18.8%	2,487	△5.0%	
その他	544	1,224	546	0.3%	1,365	11.5%	
合計	12,263	25,696	13,959	13.8%	29,584	15.1%	

※印：　自社グループ製品を含む品目

（資料）連結損益計算書

（百万円）	2015/3期				2016/3期					
	2Q累計（実績）		通期（実績）		2Q累計（実績）			通期（予想）		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	12,263	100.0%	25,696	100.0%	13,959	100.0%	13.8%	29,584	100.0%	15.1%
売上原価	5,747	46.9%	11,739	45.7%	6,119	43.8%	6.5%	13,269	44.9%	13.0%
売上総利益	6,515	53.1%	13,956	54.3%	7,840	56.2%	20.3%	16,314	55.1%	16.9%
販管費	5,845	47.7%	12,111	47.1%	6,524	46.7%	11.6%	13,528	45.7%	11.7%
営業利益	669	5.5%	1,845	7.2%	1,315	9.4%	96.4%	2,785	9.4%	51.0%
営業外収益	102	0.8%	282	1.1%	127	0.9%	24.8%	111	0.4%	△60.4%
営業外費用	38	0.3%	90	0.4%	151	1.1%	298.3%	68	0.2%	△24.3%
経常利益	733	6.0%	2,037	7.9%	1,291	9.3%	76.0%	2,829	9.6%	38.9%
特別利益	0	0.0%	83	0.3%	1,100	7.9%	-	1,049	3.5%	1155.2%
特別損失	44	0.4%	162	0.6%	66	0.5%	50.6%	82	0.3%	△49.3%
税引前利益	689	5.6%	1,958	7.6%	2,325	16.7%	237.0%	3,796	12.8%	93.9%
法人税等	403	3.3%	833	3.2%	938	6.7%	132.4%	1,625	5.5%	94.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	286	2.3%	1,124	4.4%	1,386	9.9%	384.7%	2,171	7.3%	93.1%

（資料） 連結 補足データ

（百万円）		2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期 (予想)
設備投資額		1,715	1,336	1,901	331	556
減価償却費		383	565	576	770	798
研究開発費		517	554	636	794	892
期末従業員数（名）	連結	581	595	734	759	836
	単体	509	519	549	570	631

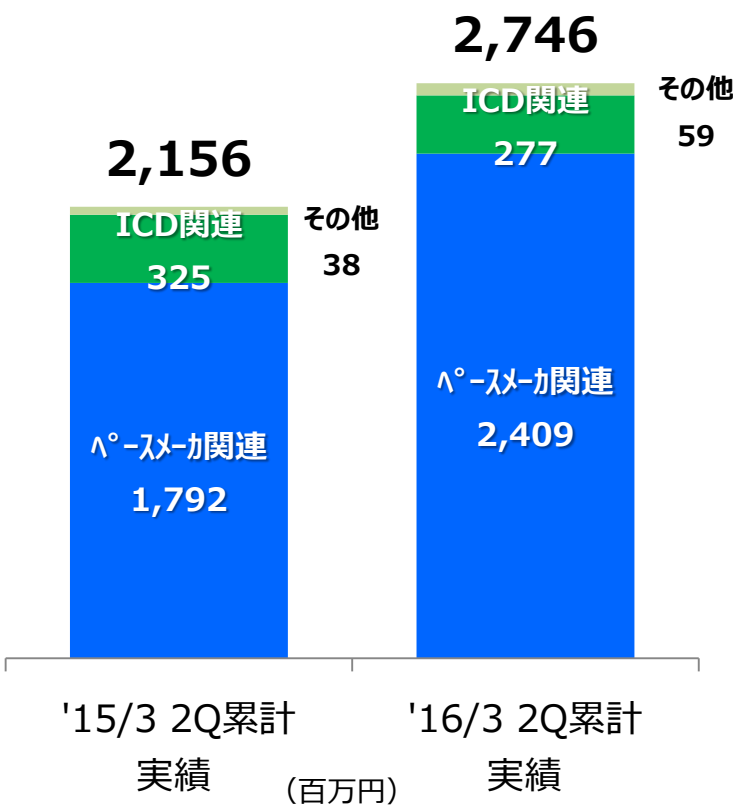
事業の現況と見通し

代表取締役社長
鈴木 啓介

リズムディバイス　2Q累計実績

売上高 前年同期比

＋27.4%



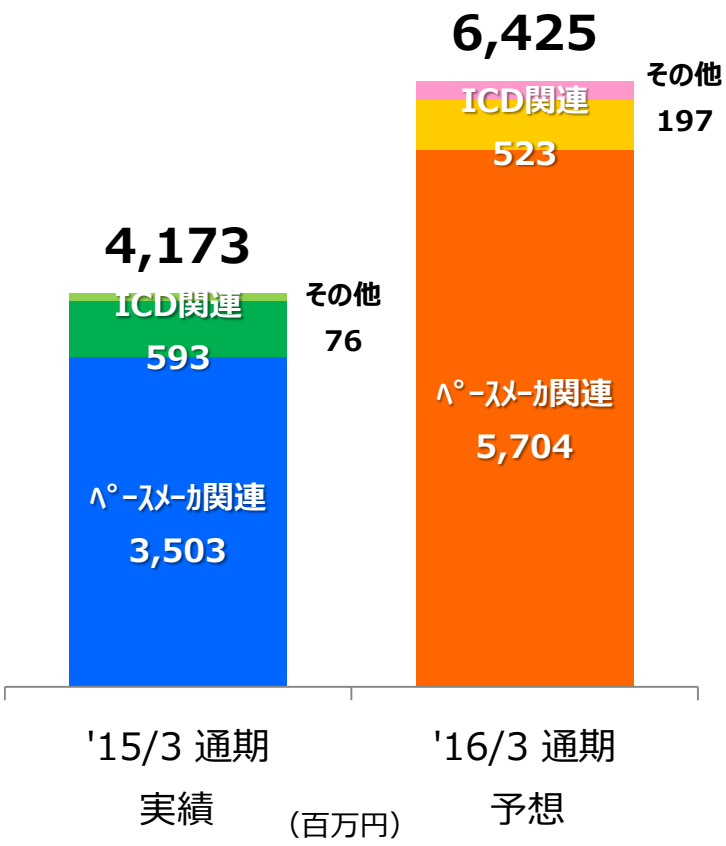
- **ペースメーカ関連**
  - 新商品「KORA100」導入により、売上高が増加
  - 対前年同期34.4%増
  - さらなる販売数量の増加を目指す
- **ICD関連**
  - 競争環境が厳しく売上高は減少

Japan Lifeline

リズムディバイス　通期見通し

売上高 前期比

＋54.0%



- ペースメーカの新商品導入
  - 全身のMRI撮像が可能な新商品
  - 「KORA250」
  - 4Q発売予定
- ICD関連も新商品を導入
  - 「PLATINIUM」
  - 小型、長寿命

Japan Lifeline

リズムディバイス　見通し

- **MRI対応ペースメーカの新商品を導入**
  - 条件付きMRI対応ペースメーカ「KORA250」
    - 胸部を含めた全身のMRI撮像が可能
    - 4Q上市を目指す



「ＫＯＲＡ２５０（コーラ250）」

保険償還価格
デュアルチャンバ　1,040,000円
シングルチャンバ　803,000円

新商品によりシェア回復に拍車をかける

リズムディバイス　見通し

- **小型長寿命なICDを導入**
  - ICD「PLATINIUM」
  - 小型かつ生理的な形状
  - 世界最高クラスの長寿命なICD
    従来品に比べ50％以上の長寿命化を達成
  - 本年１１月販売開始

ICD関連の増加を目指す

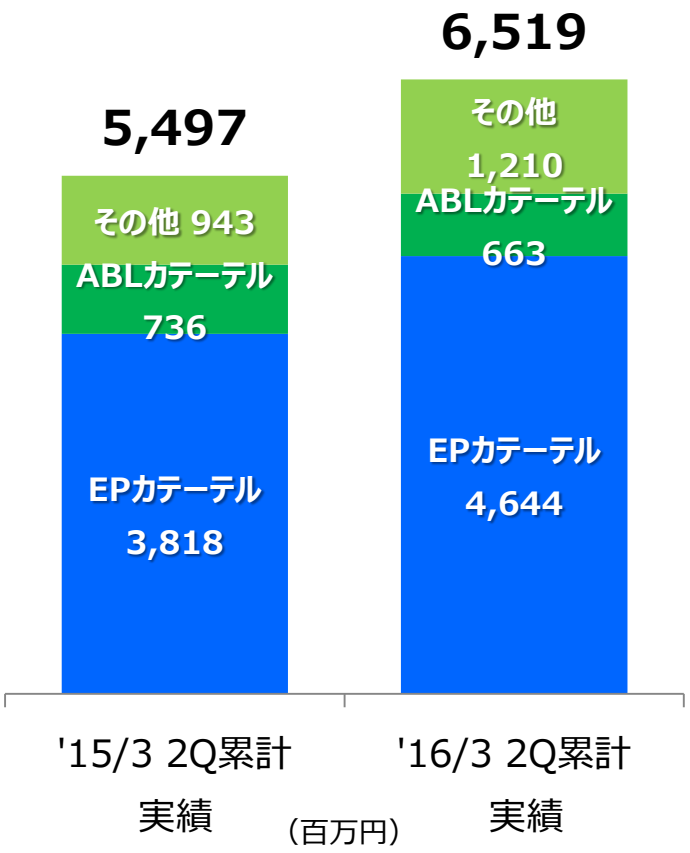


「PLATINIUM（プラティニウム）VR/DR」
保険償還価格
VR　291万円　DR　294万円

EP/アブレーション　2Q累計実績

売上高 前年同期比

＋18.6%



- 心臓内除細動システムが伸長
  - 専用カテーテル「BeeAT」
  - EP診断用カテーテル売上高
    前年同期比21.6%増
- 食道温モニタリングシステムを導入
- ABLカテーテルは減少
  - 新製品の本格導入の遅れによる
- 高周波心房中隔穿刺針
  - 「RFニードル」が伸長
  - 手技の安全性・確実性を高める

EP/アブレーション　見通し

- **食道温モニタリングシステムが伸長**
  - 温度センサー付カテーテル「Esophastar」
  - AF(心房細動)アブレーション治療の安全性を高める
  - 早期の販売数増加を目指す

特長

- 5つの温度測定用電極
- 電極径が細く挿入時の抵抗が少ない
- バイディレクショナルタイプ
- バルーン型冷凍焼灼に対応可能な
  幅広い温度測定範囲(5～75度)





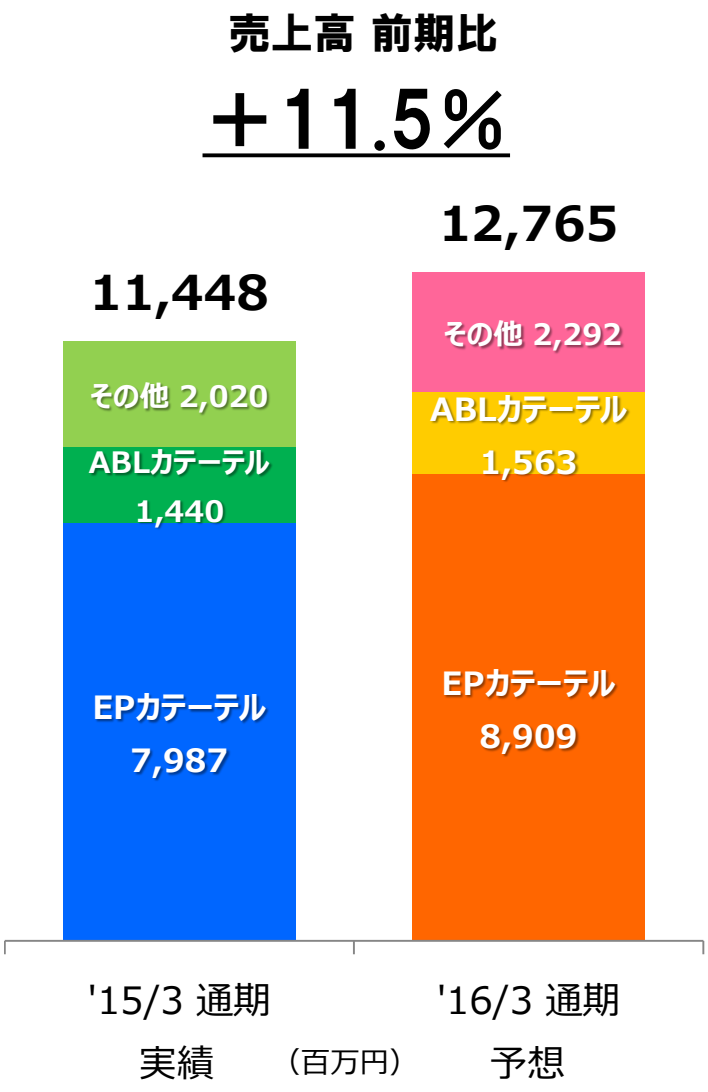
Esophastar（エソファスター）

カテーテル：保険償還価格　90,200円

モニター：希望小売価格　178万円

Esophastar

EP/アブレーション　通期見通し



- **EPカテーテルの増加が続く**
  - 「BeeAT」の成長が継続
  - 新製品「Esophastar」の寄与を見込む
- **RFニードルも安定成長**
  - 医療現場への普及に伴い、安定成長が持続

EP/アブレーション　見通し

AF（心房細動）治療の関連商品が業績を牽引



心腔内除細動システム
専用カテーテル「BeeAT」



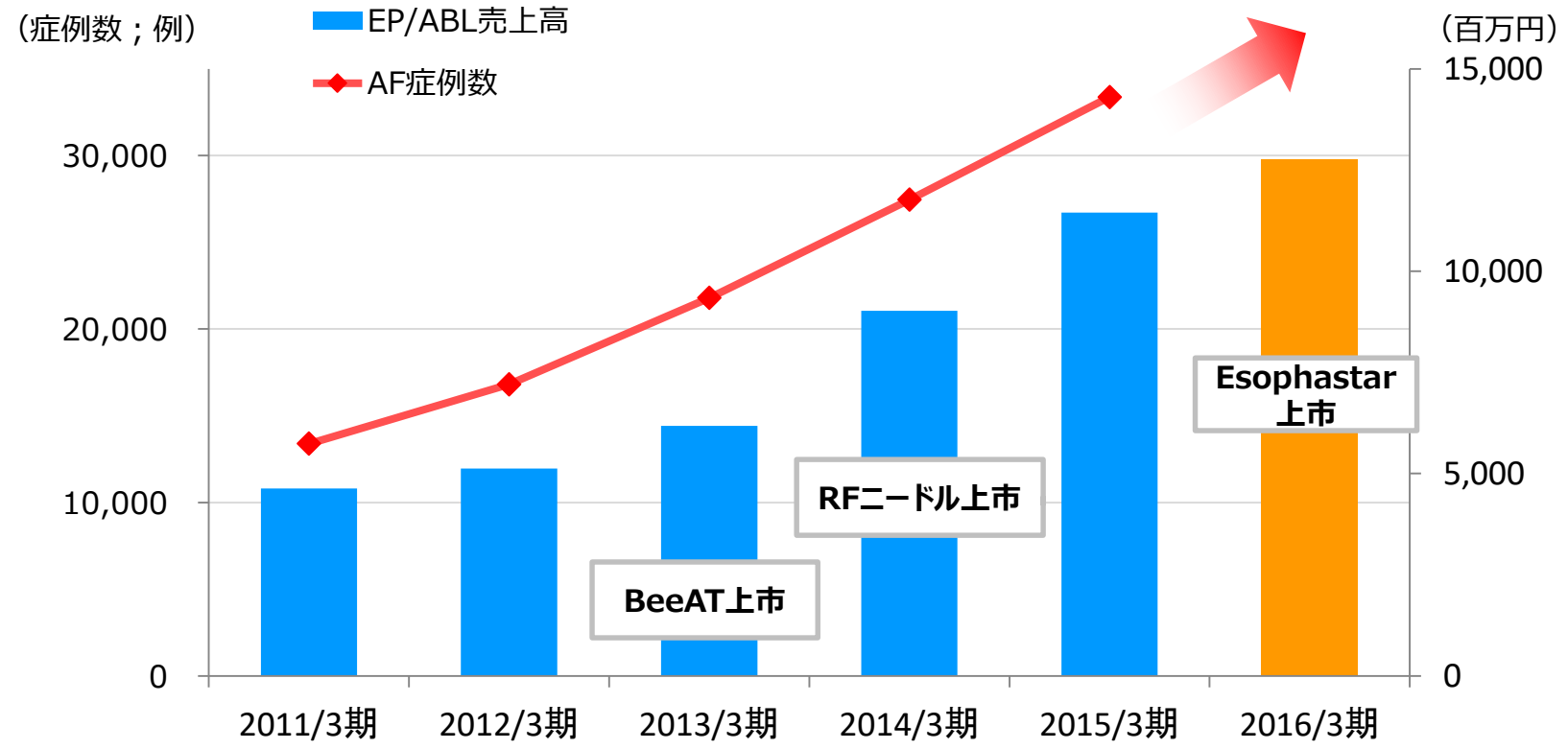
高周波心房中隔穿刺針
「RFニードル」



食道温モニタリングシステム
専用カテーテル「Esophastar」

EP/アブレーション　通期見通し

- **市場の拡大を背景にさらなる成長を目指す**
  - **AF関連商品の拡充により売上高は急速に増加**



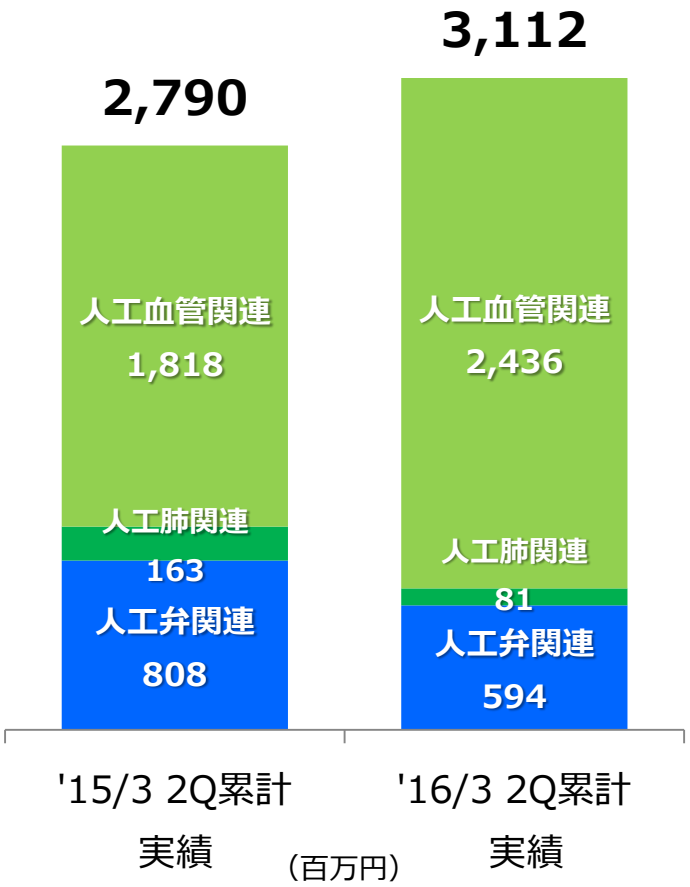
※症例数は自社推計

Japan Lifeline

外科関連　2Q累計実績

売上高 前年同期比

＋11.5%



- **人工血管関連が伸長**
  - オンリーワン製品が寄与
  - J-Graftオープンステントグラフト
  - 人工血管関連売上高
    前年同期比33.9%増
- **人工弁関連の売上高は減少**
  - 公定価格引下の影響を受ける

外科関連　見通し

- **オンリーワン製品が牽引**
  - 「J-Graftオープンステントグラフト」
  - オンリーワンの自社グループ製品



「Ｊ-Ｇｒａｆｔオープンステントグラフト」
保険償還価格　114万円

特長

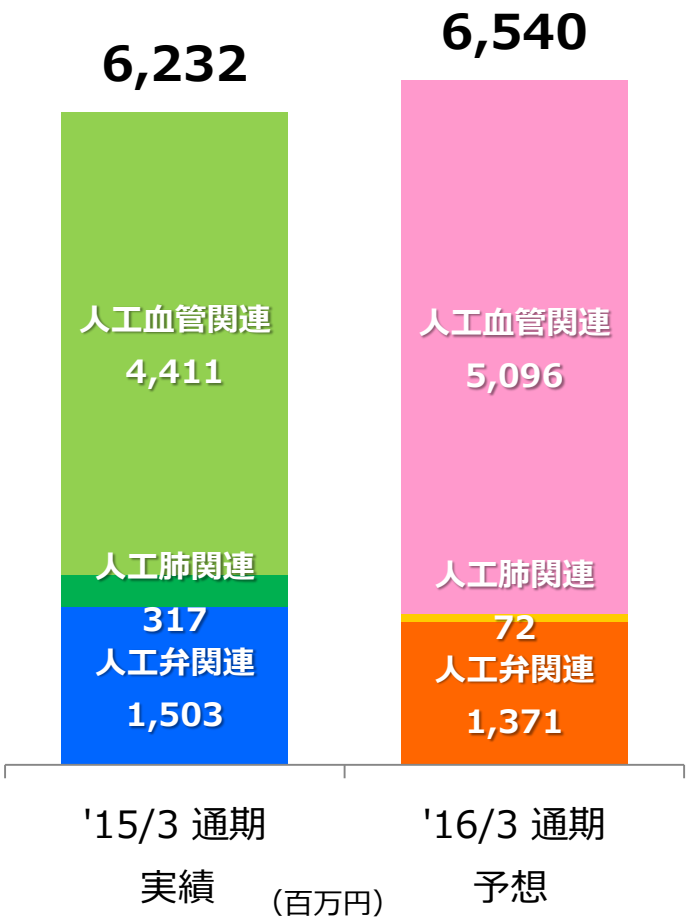
- 人工血管に比べ低侵襲
  （末梢側の吻合が不要）
- 医師の直視下で正確な留置が可能
- ステントグラフトが使用できない症例にも対応可

低侵襲な医療機器として普及が進む

外科関連　通期見通し

売上高 前期比

＋4.9%

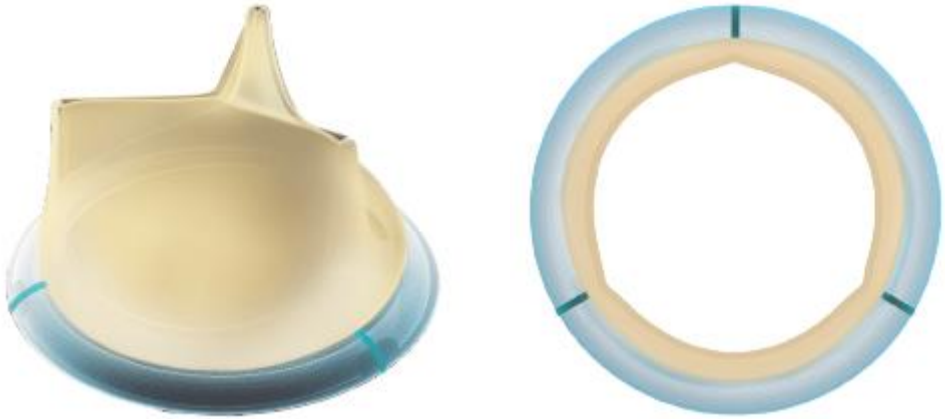


- 人工血管関連の伸長が続く
  - 好調な既存商品に加え、オープンステントグラフトが寄与
- 人工弁関連は新商品を導入
  - 「CROWN　PRT」
  - 本年12月発売予定

Japan Lifeline

外科関連　見通し

- **生体弁の新商品を導入**
  - 「CROWN　PRT」
  - 抗石灰化処理による高い耐久性
  - 既存商品「MITROFLOW」から全面的に移行

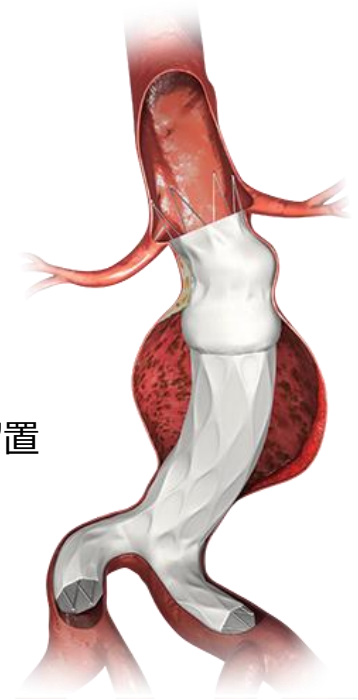


生体弁「ＣＲＯＷＮ　ＰＲＴ」
保険償還価格　953,000円

新商品導入によりシェア獲得を目指す

外科関連　見通し

- **腹部用ステントグラフトの独占販売契約を締結**
  - Endologix社（米国）
  - 「AFXステントグラフトシステム」
  - 腹部大動脈瘤を低侵襲に治療可能
  - 来年１月からの販売開始を見込む



腹部大動脈瘤への留置
イメージ

【Endologix社について】
　エンドロジックス社（Endologix, Inc.）は米国（カリフォルニア州アーバイン）に本社を置き、腹部大動脈瘤への先進的な低浸襲治療デバイスであるステントグラフトの研究及び開発を行っており、同社が開発した「AFX」は既に世界各国での販売実績を有しております。

外科関連　見通し

- **AFXステントグラフトシステム**
  - 来年１月からの販売開始を見込む
  - 特長
    - 安定した留置が可能な形状
    - スムーズなデリバリーを可能とする細径（17Fr.）
    - 正確な操作を可能とするデリバリーシステム



AFX メインボディ

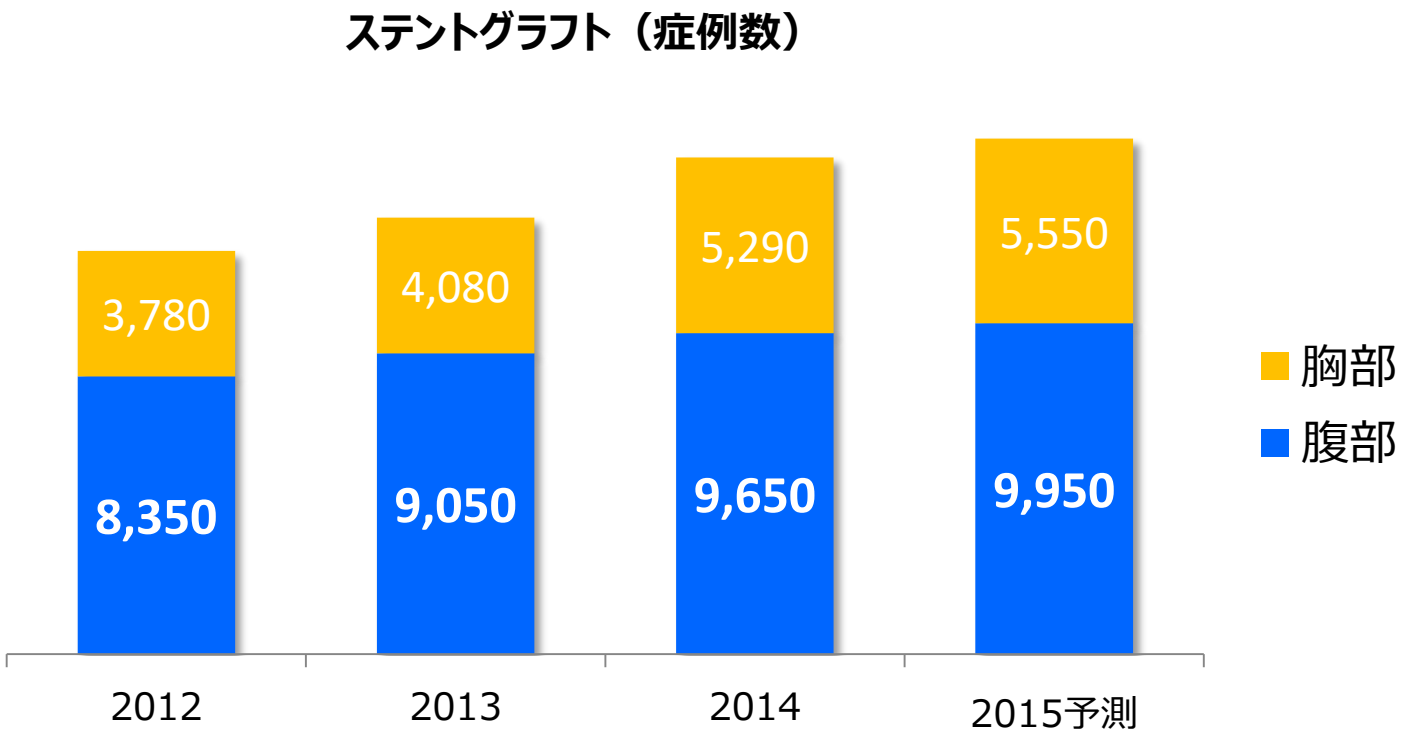


AFX デリバリーシステム

保険償還価格（予定）　131万円

外科関連　見通し

- **腹部用ステントグラフト市場の成長を取り込む**
  - **さらに次世代製品である「Nellix」の導入も計画**



外科関連　見通し

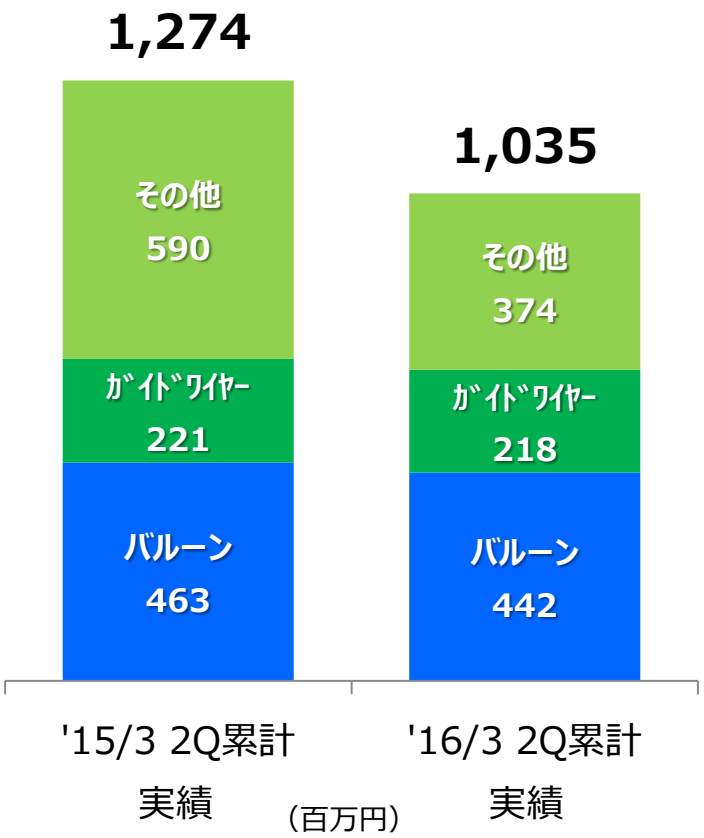
大動脈治療商品ラインナップがさらに充実

開胸手術		経皮的治療	
自社グループ製品		仕入商品	
人工血管	オープンステントグラフト	胸部用ステントグラフト	腹部用ステントグラフト
J-Graft	J-Graftオープンステントグラフト	RELAY Plus	AFX
JUNKEN MEDICAL社製	JUNKEN MEDICAL社製	Bolton Medical社製	Endologix社製
			NEW 

インターベンション　2Q累計実績

売上高 前年同期比

△18.8%

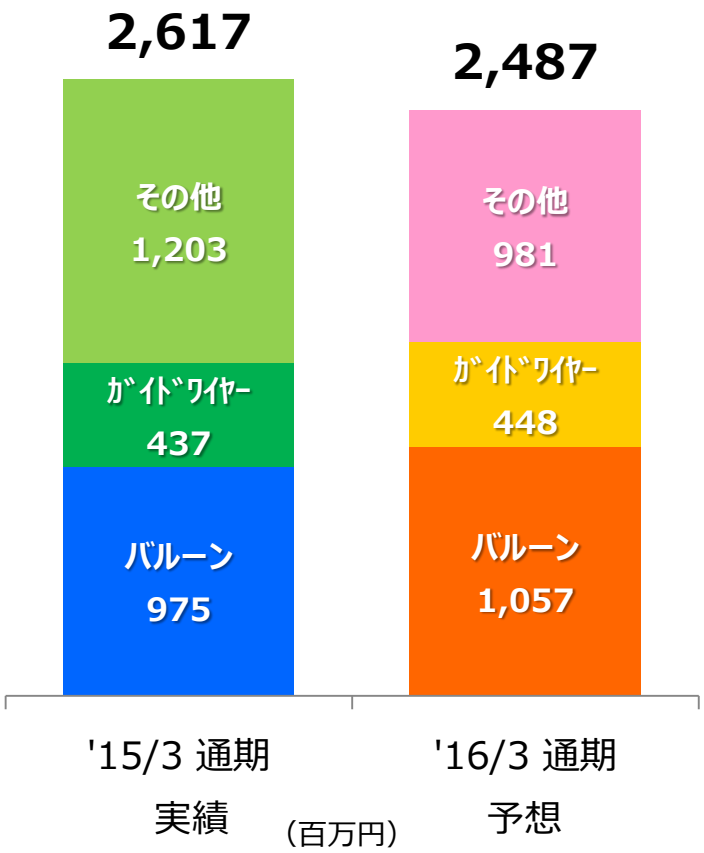


- **フィルトラップの販売終了**
  - 血管内異物除去用カテーテル
  - 前期末で販売を終了
- **バルーンは商品切替が進む**
  - 自社製セミコンバルーン「canPass」
  - ノンコンバルーン「Pantera Leo」
- **貫通力テーテルが伸長**
  - 「GuideLiner」
  - 独自の構造による手技の効率化

インターベンション　通期見通し

売上高 前期比

△5.0%



- バルーンは新商品を拡販
  - 自社製品「canPass HARD」
- ガイドワイヤーもモデル追加
  -「ATHLETE　Passista」
- 新商品を導入
  - 心房中隔欠損閉鎖器具
  -「Figulla　FlexⅡ」

インターベンション　見通し

- **自社製バルーンカテーテルの新モデル**
  - 「canPass HARD」
  - 直線的な病変が対象
  - 石灰化に負けない対劣化重視タイプ
  - 本年11月より販売開始



- **ガイドワイヤーの新モデル**
  - 「ATHLETE　Passista」
  - 新たなファーストチョイスワイヤー
  - 来年1月販売開始予定

Passista
PTCA Guidewire

- **貫通用カテーテルは末梢用を追加**
  - 「GuideLiner　PV」
  - 末梢領域での使用を想定
  - 本年11月より販売開始

GuideLiner PV
V3 Catheter

インターベンション　見通し

- **心房中隔欠損閉鎖器具を導入**
  - 「Figulla　Flex Ⅱ」
  - オクルテック社（スイス）製品
  - 4Q上市を目指す
  - 早期にシェア獲得を目指す

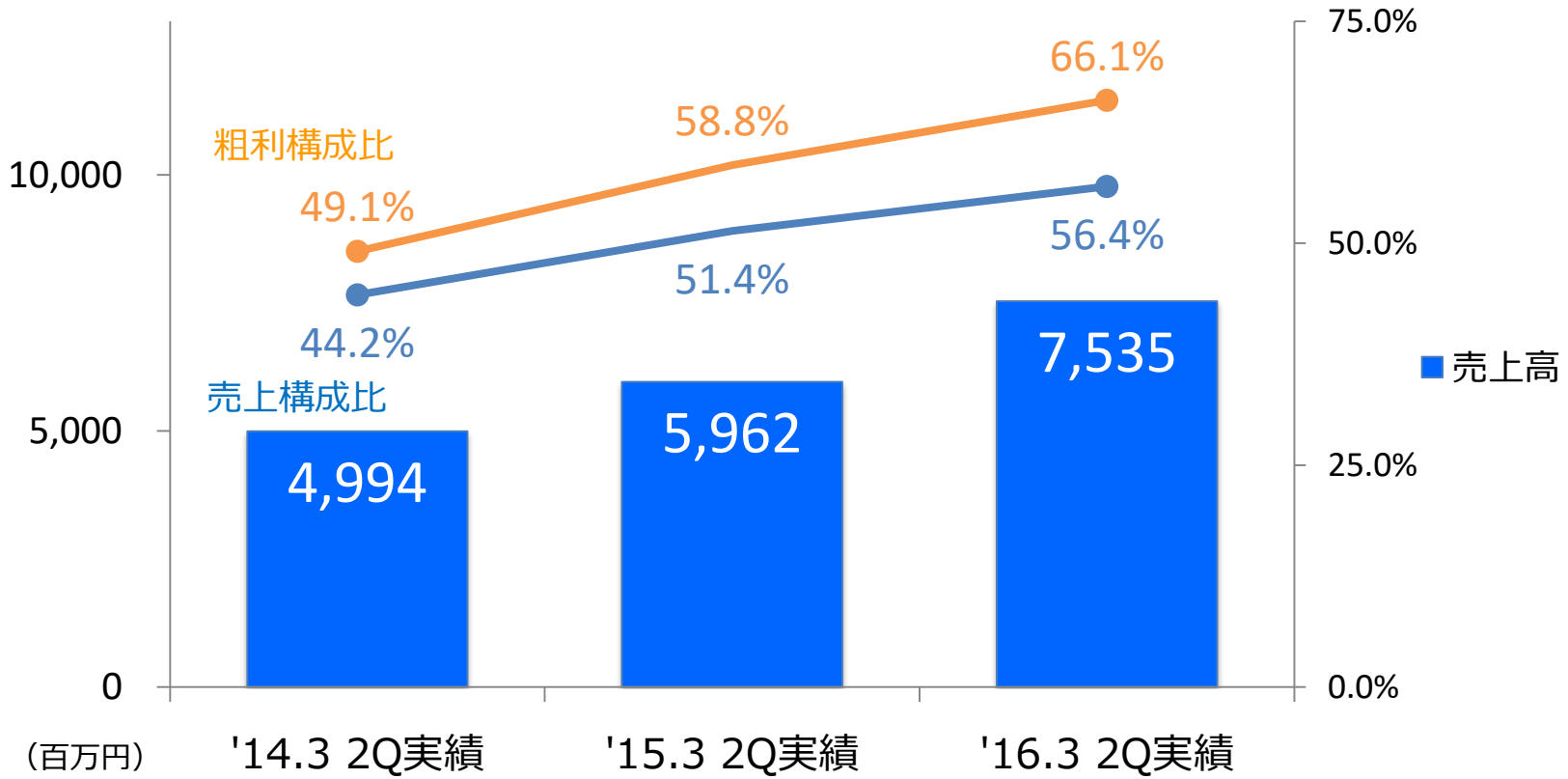


Figulla Flex Ⅱ
（フィギュラ・フレックスⅡ）
保険償還価格（予定）　791,000円

構造的心疾患領域への再参入を果たす

自社グループ製品

- **新製品の導入が成長を後押し**
  - **オープンステントグラフトが寄与**



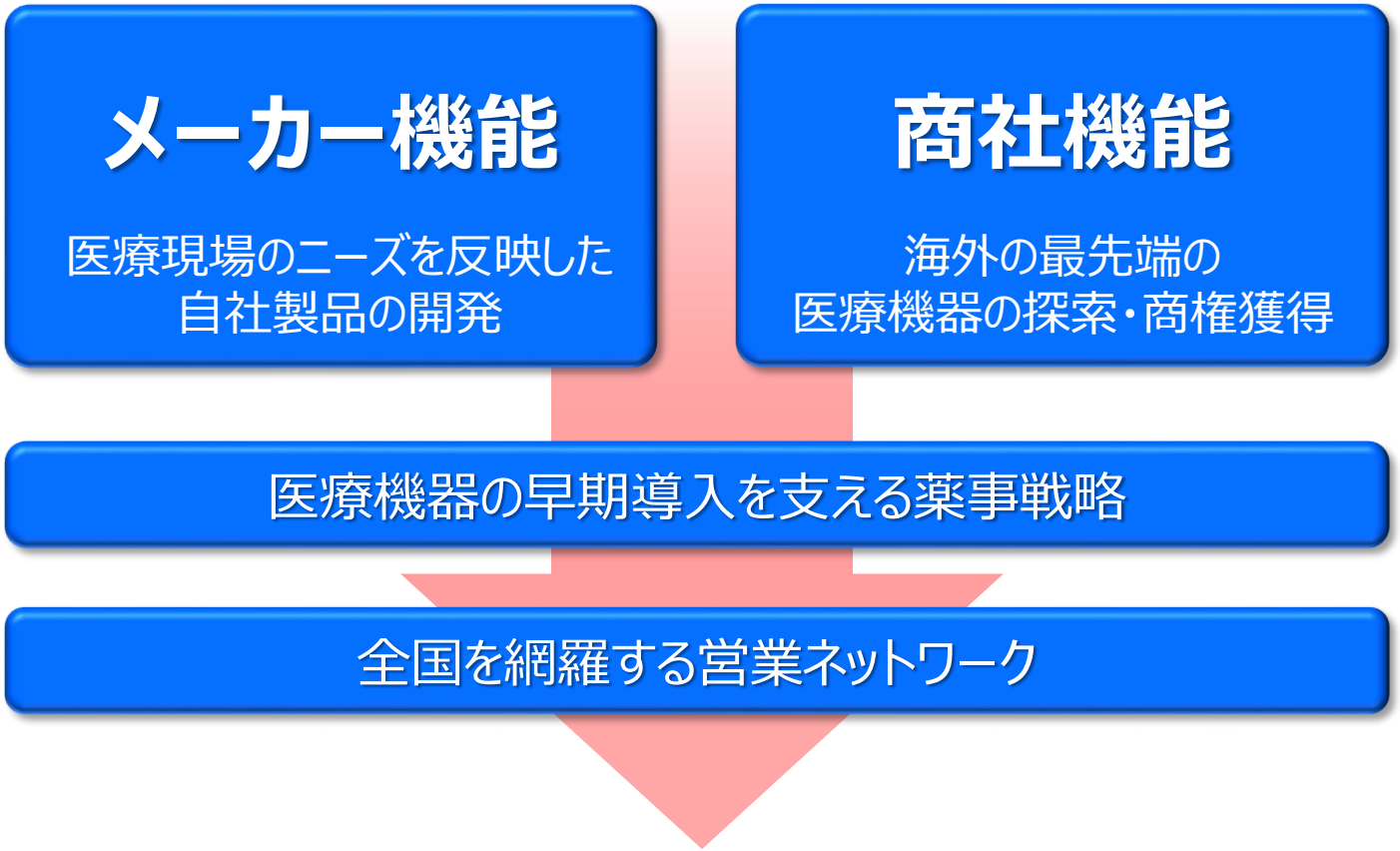
(※単体ベースに占める自社グループ製品比率)

Japan Lifeline

中期計画の進捗状況

当社の成長基盤

～本年6月2日 通期決算説明会資料より再掲～



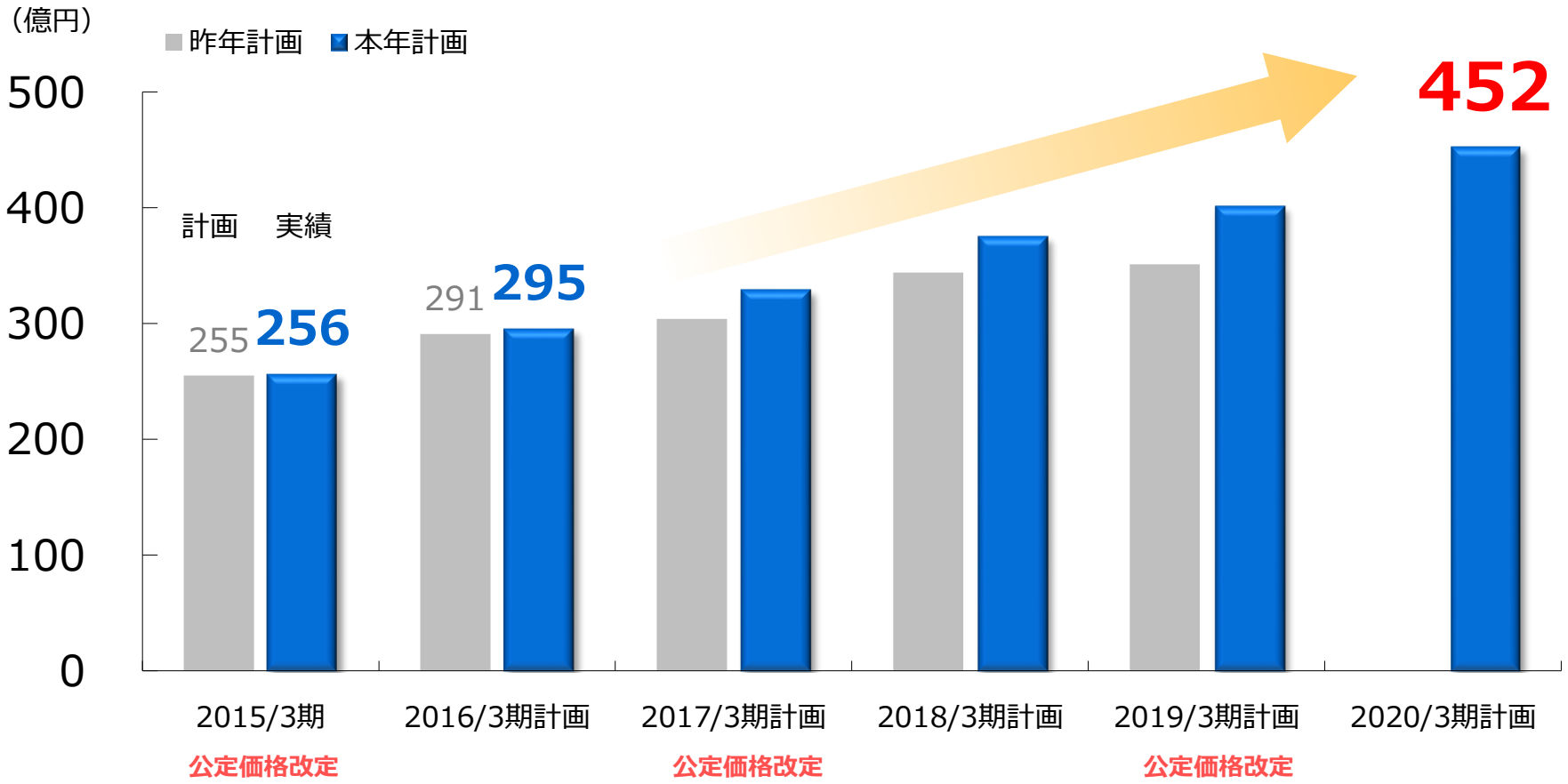
両機能をともに強化し、安定成長を目指す

Japan Lifeline

中期目標

～本年6月2日 通期決算説明会資料より再掲～

2020年3月期
連結売上高450億円、営業利益率15％を目指す



※計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まず

Japan Lifeline

中期課題　進捗状況

① リズムディバイス

６月２日時点　課題	進　捗　状　況
・MRI対応PMの次期モデル導入	⇒4Q上市を予定
・ICD/CRT-Dにおける小型新商品の導入	⇒PLATINIUM　11月より販売開始
・AED事業の本格展開	⇒販売体制の整備を進める

回復基調へ転換、一層の販売増を目指す

中期課題　進捗状況

② EP／アブレーション

6月2日時点　課題	進　捗　状　況
・イリゲーション機能付ABLカテーテルのシェア獲得	⇒承認取得済み　本格導入に遅れ
・バルーンアブレーション導入による新規市場の早期開拓	⇒導入準備中
・心腔内エコーシステム導入	⇒導入準備中
・アジアを中心とする海外市場への展開	⇒継続的に取り組みを実施

既存品が成長、次世代製品の早期導入に注力

中期課題　進捗状況

③ 外科関連

6月2日時点　課題	進　捗　状　況
・生体弁関連の商品ラインナップ強化	⇒12月よりCROWN PRTを発売予定
・ニューコンセプトの生体弁の導入	⇒導入準備中
・胸部用ステントグラフトの新商品導入	⇒導入準備中
・腹部用ステントグラフト領域への新規参入	⇒Endologix社製品により 来年1月より参入予定
・オープンステントグラフトの海外展開	⇒導入準備中

中長期に向けたラインナップの拡充が進む

中期課題　進捗状況

④ インターベンション

6月2日時点　課題	進　捗　状　況
・心房中隔欠損閉鎖器具市場への再参入	⇒４Q上市予定
・末梢用DCB （Drug Coating　Balloon）の導入	⇒導入準備中
・PCI関連カテーテルの開発	⇒ラインナップ拡充を進める

新商品の早期導入により売上増を目指す

中期課題　進捗状況

⑤ 子会社関連

６月２日時点　課題	進　捗　状　況
・OSGを含む人工血管の量産体制の構築	⇒生産体制は安定化
・血液浄化装置の新モデル開発	⇒開発を進める
・消化管ステントの開発	⇒開発を進める
・深圳工場の生産性向上	⇒生産モデルの追加
・子会社製品の海外展開	⇒導入準備中

中期課題　進捗状況

●当進行期は当初計画達成を見込む

●部分的な変更はあるものの
　全体としての中期課題の進捗は概ね順調



引き続き中期目標を目指す
2020年3月期
連結売上高450億円　営業利益率15％

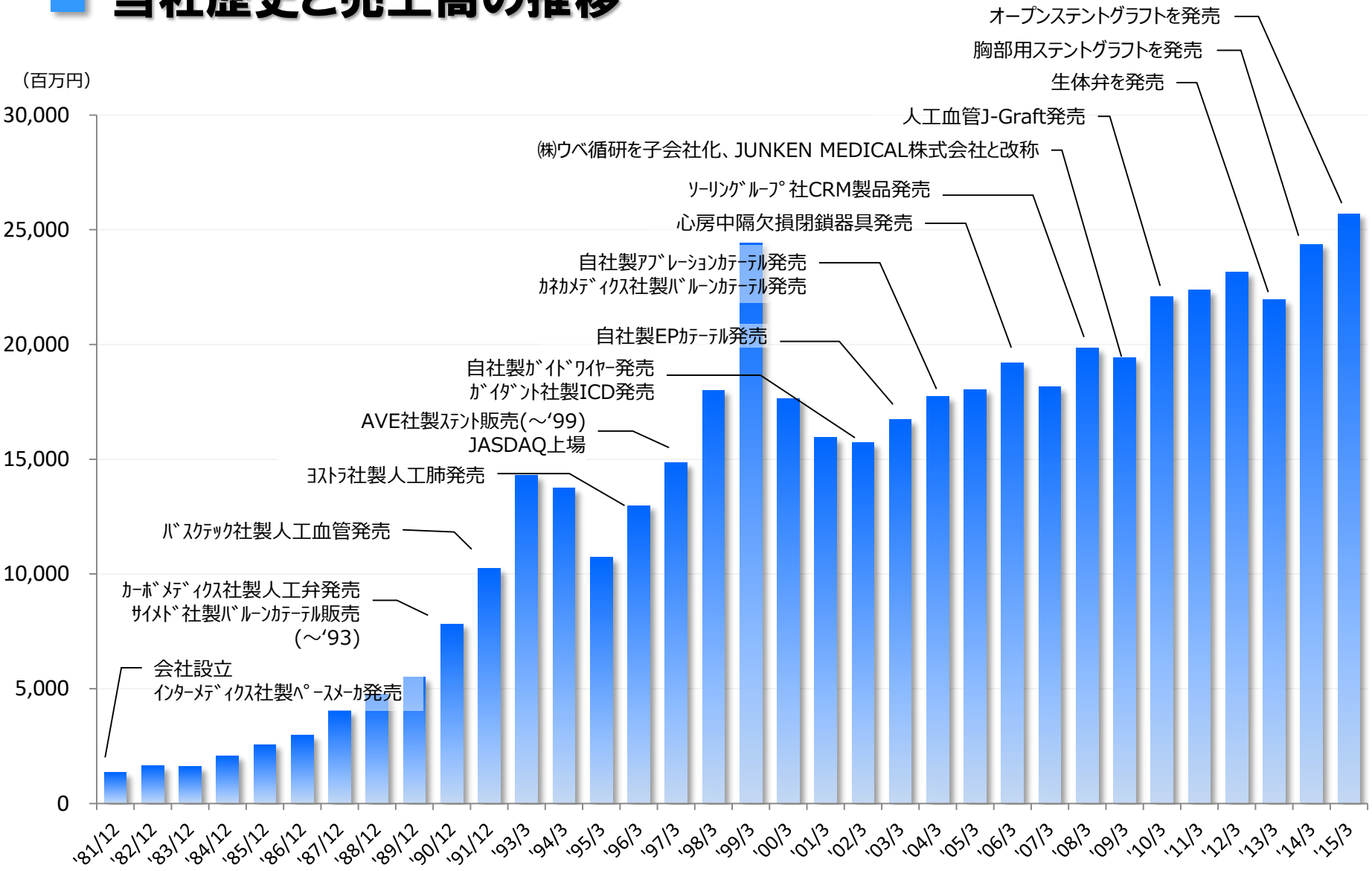
End of Presentation

会社概要

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長　鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20　天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
上場	1997年12月8日　東証JASDAQ
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結800名/単体600名（2015年9月末現在）
事業所	営業拠点33ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）
連結子会社	JUNKEN MEDICAL株式会社、SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医疗器械（深圳）有限公司、株式会社ハートブレーン

当社歴史と売上高の推移



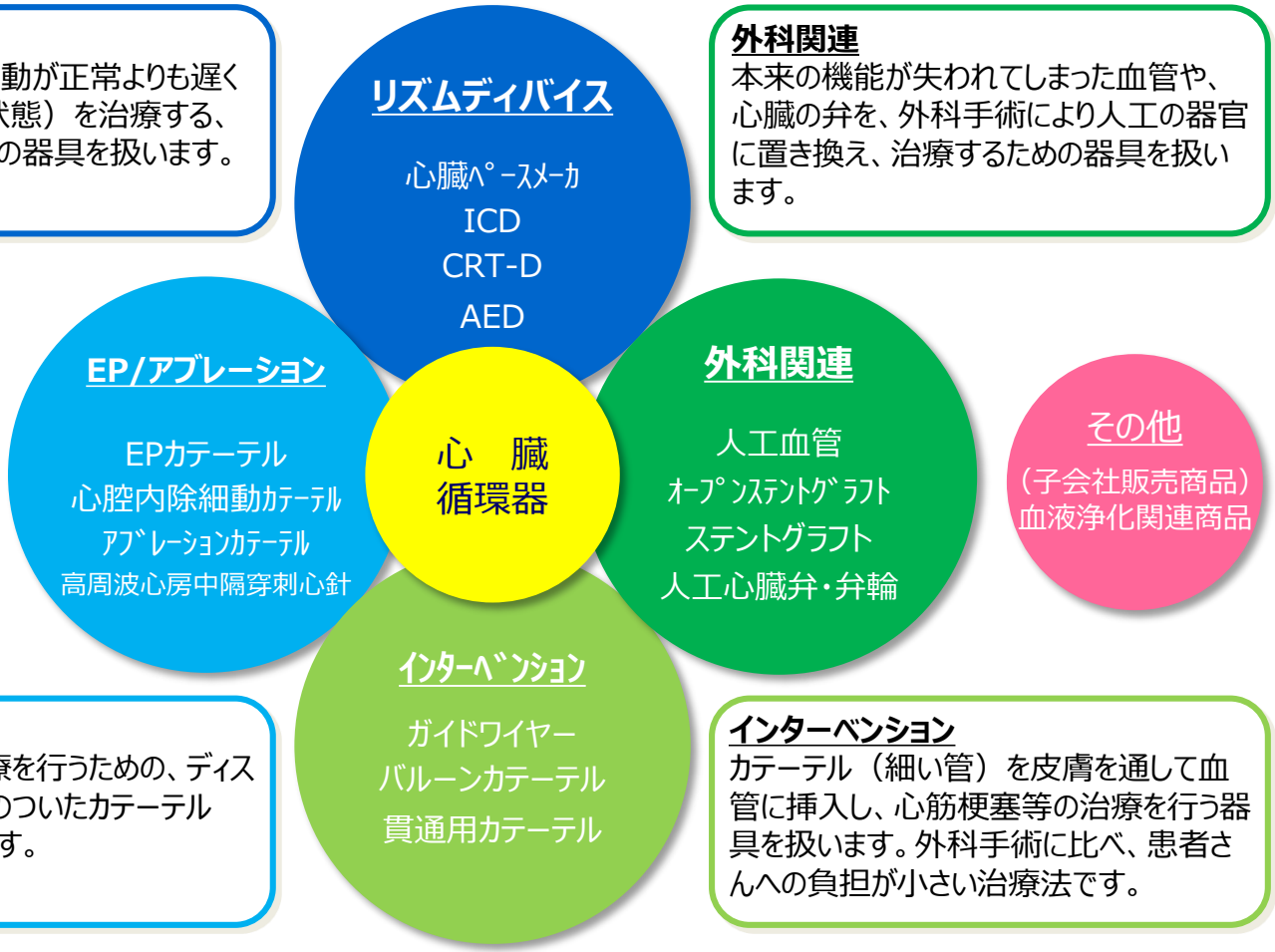
Japan Lifeline

事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の５つに大別されます。

リズムディバイス
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

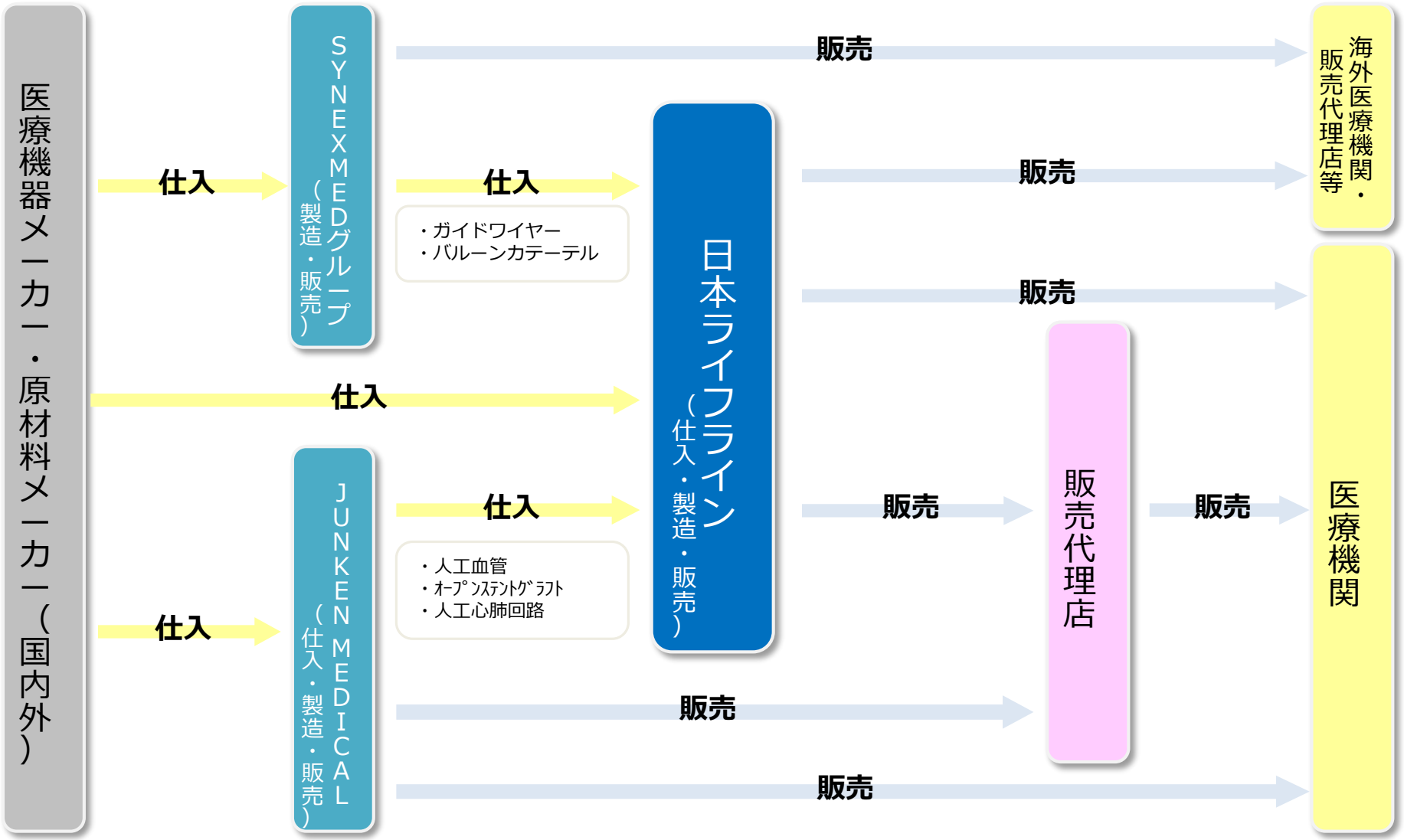
外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。



EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

事業の系統図



Japan Lifeline

商品紹介　リズムディバイス

心臓ペースメーカ

（SORIN GROUP社製）



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

ICD（植込み型除細動器）

（SORIN GROUP社製）



心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

（SORIN GROUP社製）



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

AED（自動体外式除細動器）

（NANOOMTECH社製）

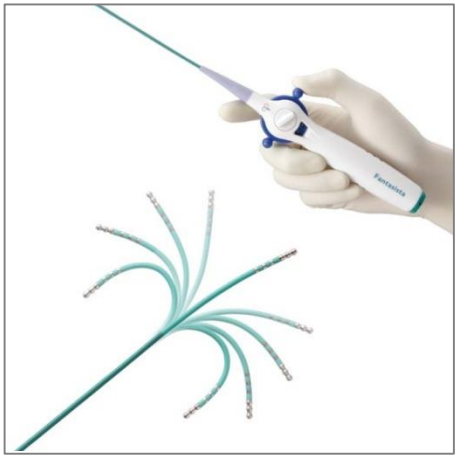


心室細動などにより心臓が突然停止した際に、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。操作が簡単なため、一般の方も使用することができます。

商品紹介　EP/アブレーション

アブレーションカテーテル

（自社製品）



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

EP（電気生理用）カテーテル

（自社製品）



不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

心腔内除細動カテーテル

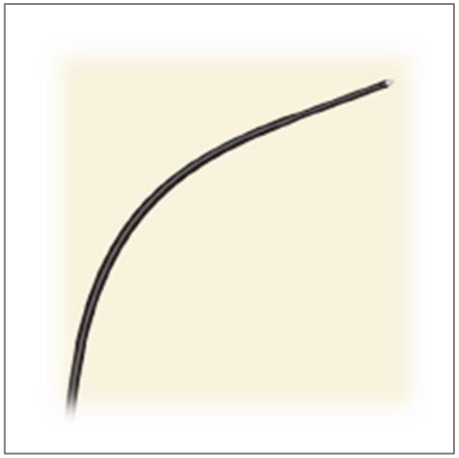
（自社製品）



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

高周波心房中隔穿刺針

（BAYLIS MEDICAL社製）



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

商品紹介　外科関連

人工心臓弁

（SORIN　GROUP社製）



心臓弁が十分に開かない、また完全には閉じないなど、正常な血流を保てなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

人工弁輪

（SORIN GROUP社製）



オープンステントグラフト

（JUNKEN MEDICAL社製）



大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

ステントグラフト

（BOLTON MEDICAL社製）



開胸手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

商品紹介　インターベンション

バルーンカテーテル

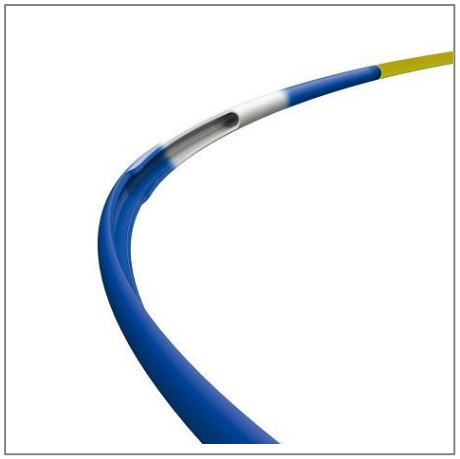
（SYNEXMED社製）



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

貫通用カテーテル

(Vascular Solutions社製)



バルーンカテーテルやステント等を冠動脈の治療部位へ送り届ける際に、ガイディングカテーテルをサポートし、手技をスムーズかつ効率的に行うために用います。

ガイドワイヤー

（自社製品）



バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略部
TEL:　03-6711-5214
E-Mail: ir@jll.co.jp
URL: http://www.jll.co.jp